

介護福祉士修学資金貸付の申請および契約に向けた留意点

◎貸付申請から貸付決定、契約締結、貸付金の送金までの手続きを、よりスムーズに進めるために、下記内容についてご留意いただき、貸付希望者へのご指導をよろしくお願いいたします。

なお、日本国籍の18歳の方は成人（成年）として取り扱います。

1. 府社協への申請書類の提出について

- 各申請者の推薦状、申請書、同意書、住民票、連帯保証人にかかる書類等を、申請者ごとにセットしたうえで、推薦者名簿の順番に整えて、ご提出をお願いします。



2. 推薦者名簿の作成について

- 下記チェック項目をご確認のうえ、課程ごとに作成してください。

項目	内 容				
順位	<ul style="list-style-type: none"> 推薦順位の上位の者からご記入いただき、下記項目を参考に総合的な観点からご推薦ください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">入学前</td> <td>業務従事意思、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学後</td> <td>業務従事意思、成績や出席状況、授業への取り組み姿勢、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。</td> </tr> </table> <p>※「入学前」と「入学後」の2回に分けて申請書類を提出する場合、推薦者名簿は、各々に分けて作成してください。</p>	入学前	業務従事意思、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。	入学後	業務従事意思、成績や出席状況、授業への取り組み姿勢、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。
入学前	業務従事意思、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。				
入学後	業務従事意思、成績や出席状況、授業への取り組み姿勢、家庭の経済状況等から貸付が必要か、大阪府内で中核的な介護職として就労する意欲があるか、資格取得に向けた向学心があるか など。				
氏 名	申請者の氏名をフルネームでご記入ください。				
修学支援新制度	<ul style="list-style-type: none"> 「高等教育の修学支援新制度」を利用する方は、○印を記入してください。なお、支援区分が決定し、授業料や入学金の自己負担額が明確になってから、貸付申請を行うように指導してください。 				
業務従事意思	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後、大阪府内の社会福祉施設等で介護福祉士として、引き続き5年以上返還免除対象業務に従事する意思があることを、申請者に確認してください。 返還免除になるまで、卒業後も書類等の提出が必要なこと、並びに、退学時や大阪府内で従事しない場合は、修学資金を返還しなければならないことも併せてご確認ください。 				
推薦状	<ul style="list-style-type: none"> 申請者ごとに、推薦状を作成してください。また、所見の各項目についてもご記入ください（なお、所見項目②または③は、いずれかに該当することが必要です）。 				
申請書	<ul style="list-style-type: none"> 記入例を参考に、漏れや抜けがないようにご指導をお願いします。 <p>(不備の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民票の住所と申請書の住所が異なる 借入希望総額が所要金額を上回っている 項目が未記入である（電話番号、他に受けている奨学金等、連帯保証人(個人)の勤務先、連帯保証人(法人)の府社協承認番号) など 				
同意書	<ul style="list-style-type: none"> 申請者および連帯保証人(個人または法人)が、内容をご確認のうえ、自署するように指導をお願いします。(法人が連帯保証人の場合は捺印も必要です) 				
住民票	<ul style="list-style-type: none"> 申請者本人の住民票の提出が必要です。 <p>(注意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「世帯全員」の記載があること 「続柄」や「在留資格」(外国籍の方)が記載されていること 申請日より前3カ月以内の発行であること 現住所地と住民票の住所が異なっていないか など 				

連帯保証人	個人	・「令和4年度の府・市町村民税課税証明書」（令和3年中の所得証明）が必要です。 （「源泉徴収票」や「住民税特別徴収税額の決定通知書」での代用不可）。 ※年度に誤りがないか要注意
	法人	①貸付に同意する旨が議決された理事会等の議事録又は稟議書 （※対象者名と貸付金額の記載が必要です）。 ②直接雇用契約がある場合：申請者に通知した雇用契約書又は雇用通知書（写し）。 派遣職員の場合：派遣会社と法人との契約書（写し）。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 生活費加算を受ける場合は、申請者の生活保護廃止証明書、又は世帯全員の府・市町村民税課税証明書等（高校生以下は不要）。 中高年離職者の場合（入学時に、45歳以上の者であって離職して2年以内の者）は、離職年月日を証明できる書類。その他、府社協から個別に提出を求める書類 	

※詳しくは、募集要領のP9～P13をご参照ください。

3. 申請者の住所変更について

・申請書に記載した住所から変更になった時は、下記の書類を提出してください。

■申請中の場合・・・新しい住民票

■貸付決定後の場合・・・印鑑登録証明書（新しい住所が記載されたもの）

4. 貸付決定後の手続きについて

・「貸付決定通知書」とともに、借用証書等の必要書類を送付しますので、おおむね**2週間以内**にご提出をお願いします。一定期間を過ぎても、借用証書等の提出がない場合は、辞退したものとみなす場合もございますので、予めご了承ください。**なお、日本国籍の18才の方は実印が必要です。**

- | |
|---|
| ①介護福祉士修学資金借用証書（※裏面を確認すること） |
| ②修学生本人の印鑑登録証明書（※借用証書の住所と一致していること。未成年の場合提出不要） |
| ③連帯保証人、法定代理人の印鑑登録証明書（提出日前3カ月以内。法人は印鑑証明書）
（法定代理人が両親の場合は、父母双方のものがが必要です。） |
| ④振込先（本人名義）の銀行口座の通帳の写し（金融機関や口座名義等が確認できるもの） |
| ⑤貸付金振込口座届出書 |
| ⑥届出書（※初回送金額の一部のみ、養成施設の口座へ送金を希望する場合に提出すること） |
| ⑦作文「介護福祉士をめざしたきっかけと将来の夢」
※この作文は内容を評価するものではありません。介護福祉士を目指す心構えや、将来働くことへの決意を表すものとして書いてください。 |

（提出書類の留意点）

記入方法	・こすると消えるボールペンを使用しないこと。 ・申請者、法定代理人(親権者等)および連帯保証人が自署すること。
書類の押印	・借用証書は、実印による押印を行うこと（法定代理人が複数いる場合、実印は異なるものが人数分必要）。未成年者は認印で可ですが、借用証書の作成時点で成人の場合は実印（印鑑登録証明書）が必要です。
収入印紙	・貼付け・消印を行うこと（収入印紙は1枚が望ましい。切手の貼付けは不可）。
振込口座届出書	・通帳の記載内容を、正しく漏れなく転記すること。 （なお、ゆうちょ銀行の銀行コードは9900、支店名は漢数字）

※入学前に申請する場合、申請者が4月に入学後、「在学者一覧」を提出してください。

5. 送金のご連絡

・貸付金の送金日までに、あらかじめ、養成施設へ「送金のお知らせ」を送付しますので、必ず、**修学生本人**にお渡しください。